

令和8年度学校経営計画

令和8年4月1日

練馬区立泉新小学校

校長 山岸 史子

1 経営の基本理念

昭和44年創立の練馬区立泉新小学校は、今まで諸先輩方や地域の方々が築かれた本校のよき伝統が受け継がれている。児童・保護者・地域の方の願いや思いを受け止めながら、時代のニーズに対応した特色ある教育活動を進め、地域に生きる子、世界に羽ばたく子を保護者・地域と協働して育成すべく、練馬区教育委員会が進める小中一貫携教育実践校として、学校教育力の向上を推進する。

東京都、練馬区の教育目標の実現に向けて、教職員の指導力と人権感覚を磨き、子どもの健やかな成長と発展のためにその職責を果たすことが求められる。教職員が身近な生きるモデルの一人となれるよう、自己研鑽を重ねることを推奨し、子どもとかわる教職員のウェルビーイングの実現も重視する。

【教育目標と基本方針】

<教育目標>

- ◎ 思いやりをもち助け合う子（やさしく）
- よく考え進んで学ぶ子（かしこく）
- 健康でやりぬく子（たくましく）

<基本方針>

- (1) 命と尊厳を守る、安心できる校内体制の確立
- (2) 基礎・基本の学力の定着
- (3) 心と体の健康、体力づくりの推進
- (4) 小中一貫教育の実践と地域と共にある学校の創造

2 目指す特色ある学校像

【目指す学校像】 未来を生きる子どもたちに 未来に生きる力を育む 泉新小学校

- ・誰もが安心できる学校 自分の居場所があり、温かいかわりの中で生き生きと自分の良さを発揮できる学校
- ・誰もが活躍できる学校 自分の役割があり、他者と協力して課題解決する達成感を味わえる学校
- ・誰もが未来に希望がもてる学校 夢をもち、その実現に向けて様々な力を伸ばす・支える学校

【目指す教師像】 すべてのひと・こと・ものに敬意をはらい、向上心と実践力を備えた教師

教師は、児童の成長の重要な時期に寄り添い支え、未来を見据えて必要な力と個々のもつ良さを伸ばし導く重大な責任を負い、役割を担っている。児童にとって教員との出会いは偶然であるからこそ、出会えてよかったと思えるものにしたい。そのためには、教師自身が一人の人としての在り方を常に振り返り、よりよくしようという自発的な向上心が必要である。児童から、「あの先生のような人になりたい」と思われるような教師でありたい。

3 経営目標と本年度の具体的な経営目標

<中期経営目標>

3-1 教育目標の重点 「思いやりをもち 助け合う子」（やさしく）の育成

多様性を理解し、認め合い、互いの良さを発揮しながら協力して課題解決できる力の素地を養う。

3-2 学校経営目標

○様々な関わりを通し、心身ともに健康な児童の育成を図る

- ・ 教育相談活動を充実させ、児童の健全育成を育み、いじめや自殺の未然防止に努める。
- ・ 教育活動全般における道德教育の充実と道德科授業力の向上を目指す。
- ・ 自他の命や健康を大切に生活実践につながる、心と体の健全育成を図る。
- ・ 読書活動の活性化、たてわり班活動の充実による情操教育の推進。

○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図り、「確かな学力」を育む

- ・ 学習の基礎基本を確実に身に付けさせ、自分の考えをもち表現できるよう、授業改善する。
- ・ 算数では、全学年で習熟度別少人数指導を行い、個別最適な学びにつながる指導の工夫を図る。
- ・ タブレットを活用した学習の推進を図る。

○安全や学習環境に配慮し、気持ちのよい学校づくりを推進する

- ・ 社会的な生活集団の一員としてのきまりを守り、安全に生活できる環境づくりに努力する児童を育てる。
- ・ 校舎内外の整理・整頓を進めるとともに、地域との連携・協力を深め、学校内外の安全の向上を図る。

○開かれた学校づくりの推進

- ・ 小中一貫教育および幼保小連携教育の推進を図り、就学・進学にあたりスムーズな移行を進める。
- ・ コミュニティ・スクール実証校として地域・保護者・学校が連携し、学習環境の向上を図る。
- ・ 学校の教育活動の発信や保護者、地域への公開を積極的に行い、「チーム泉新」の協働性を高める。

4 令和8年度の達成目標と具体策

(1)豊かな心を育む

- ・ あいさつを基本とした、具体的な実践活動……三原台中学校(生徒会中心)と連携したあいさつ運動など
- ・ 異学年活動の充実……たてわり班活動、クラブ活動、委員会活動、合唱活動など
- ・ 読書活動の充実……朝読書の機会設定や読み聞かせ・学校図書館支援員と連携した書籍の活用場面の増設
司書教諭と保護者読書ボランティアの連携、図書委員会等の活用

(2)確かな学力を育む

- ・ 学び方のスタンダードの定着……話の聞き方、話し方、ノートの書き方、学習準備の仕方、学習課題の把握など
- ・ 読解力(聞く・読む)、表現力(話す・書く)、計算力、既習事項の活用力の向上とともに気づきの力の伸長
- ・ コミュニケーション力を重視した外国語活動(3・4年生)・外国語(5・6年生)の充実
- ・ 児童自身が学習に活用できる ICT 利活用についての充実

(3)健やかな心身を育む

- ・ 健康教育の充実……食育など健康な体づくり・望ましい生活習慣への意欲の向上につながる学習の設定
- ・ 運動の機会の充実……体育の授業の質の向上・外遊びなど学校環境を生かした運動の促進

(4)安心・安全な環境づくり

- ・ いじめや自殺の未然防止……温かい人間関係と信頼関係を育む居場所づくり・絆づくり
- ・ 校内支援委員会の充実……関係機関との連携の強化並びに児童の抱える様々な困難さへの対応力向上

(5)開かれた教育活動の推進

- ・ 小中一貫教育を念頭においた三原台中学校・光和小学校・橋戸小学校との連携教育の推進
- ・ 外部講師を活用した本物体験……専門家に学ぶ機会や体験的な学習機会の設定
- ・ 家庭や地域との連携力の向上
- ・ 学校運営協議会や泉新小応援団、泉新小サポーターの会(保護者ボランティア)等との連携の強化

(6)信頼される力強い教育力の育成

- ・ 教職員の人権感覚の向上……言語環境を整え、児童同士も温かな関係づくりに生かせる手本となる
- ・ 情報の活用・OJT 研修、外部研修会への参加促進…今日的課題への関心・理解につながる専門性の向上
- ・ わかる授業づくり……ICT の利活用、特別支援教育への理解、教育相談技術の向上
- ・ 組織的対応の徹底……教職員の連携、サポーター的な関係性、互いに尊敬尊重しあう関係づくり
- ・ サービスの厳正・誠実な職務遂行

5 年度末の評価・検証の目標

- ・ 豊かな心…一人当たり年間読書量を1週間1冊以上(年間およそ50から60冊)
- ・ 学力向上…昨年度調査より3ポイント上昇
- ・ 健やかな心身…給食残食量の減少・治癒勧告書への対応100%・毎日15分以上の運動の機会確保
- ・ 安全・安心な環境…いじめ・不登校等未然防止件数の増加による、解決のための対応の件数の減少
- ・ 開かれた学校…学校評価における学校の教育活動についての各項目で「わからない」回答2%未満
- ・ 信頼される力強い教育力…各教職員の自主的外部研修回数3回以上・サービス事故0件

